

ジュースも美味 ニューベリーA 沼隈で収穫ピーク



加圧器でブドウのジュースを搾り出す仕込み作業

県内一のブドウ産地、福山市沼隈町で特産のニューベリーAが収穫の最盛期を迎えている。14日には無添加ジュースの製造も始まった。

沼隈内海商工会員や主婦たちでつくる「ぬまくま夢工房」は町

内の工房で、果汁100%の「沼隈ぶどうジュース」の仕込みを始めた。完熟前の実を鍋で低温加熱した後、加圧器を使って濃い紫色の果汁を搾り出した。16日まで作業して、400本を製造する。

熟成後、同町の道の駅アリストぬまくまなどで11月中旬に発売する。500ミリ入り1900円。

ニューベリーAは1972年に同町で商品化された。種なしでほどよい酸味が特長。町果樹園芸組合（横井昌

登組合長、95戸）が毎年6～9月に約500トを収穫し、主に県内や関西地方へ出荷している。（門脇正樹）

動画は中国新聞HPで



読者会員限定